

# 令和5年3月定例会 一般質問通告内容

通告番号：1番 通告事項：1/1項目 議席番号：13番 議員名：堀田 一徳

質問事項：移住・定住の促進について

本町の人口は減少傾向にあり、その傾向が今後も続いていくと予測されている。特に若者が就職を希望するような企業が少ない地域では、若い人達が大都市圏に流出している。これが人口減少の大きな要因となっている。

人口減少の克服のためには、移住・定住者を増やすことが重要となってくる。移住・定住の促進について、以下の点を尋ねる。

- ① 移住・定住の促進で効果が期待される取組が総合計画及び総合戦略に掲げてあるが、この項目以外に新たな施策は考えているのか。
- ② 地域、年齢層、家族構成などを特定した明確なターゲットは。
- ③ 町の魅力についての情報発信やPRは。
- ④ 移住・定住促進のため新たな助成制度ができないか。
- ⑤ 新規就農での移住・定住施策において、新規就農者に対する住宅・農地の確保は。

答 弁：町 長

質問事項：高齢者対策について

少子高齢化が進む中で、少子化については、現在国において児童手当支給の拡大等、異次元の少子化対策に取り組む各種の施策について議論がなされている。

しかし、高齢者への対策については、十分な論議がなされていない感がある。

本町の年齢別人口を見ると、3歳児以下は各年齢90名以下で少子化対策は喫緊の重要な課題であり、あらゆる角度から検討し、取り組む必要がある。それと同時に、高齢者対策についても2025年問題を控え、重要課題として取り組む必要があると思われる。本町の高齢者の人口は、65歳以上が34.6%、75歳以上が18.4%と高齢化が進んでいるのが現状である。

現在、円安、ロシアのウクライナ侵略等により食料品を始めとする生活用品、ガス代、電気料金等の値上げや、医療費の自己負担が増加する等、年金生活者が多数を占める高齢者にとっては、厳しい生活が求められているものと思われる。

町長の選挙公約に「高齢者の方が住みよいまちづくりの実現」とあるが、以下の点について尋ねる。

- ① 現在の物価高に対応するため高齢者世帯に現金支給など支援する考えはないか。
- ② 75歳以上にタクシー補助券が支給されているが制度の見直しや、コミュニティバス等の運行に取り組む考えは。
- ③ 高齢者の引きこもり防止や介護予防の一環として「いきいきサロン」や「百歳体操」が各自治会で行われている。「いきいきサロン」については、補助金があるが「百歳体操」については、補助金等はない。空調代等補助できないか。
- ④ 自治会活動、自主防災、地域見守りや各種団体の活動の大半は高齢者が担っている。世代交代が円滑に進まず、各種活動が縮小していくことが危惧される。活動への支援、助成に取り組む考えはないか。

答 弁：町 長

|   |
|---|
| <p>通告番号：3番 通告事項：1／2項目 議席番号：1番 議員名：福田 徹</p>  |
| <p>質問事項：ポイント制度について</p>  |
| <p>他の自治体でいろいろなポイント制が展開されている。簡単に言うとポイントを使ったり貯めたりして、中には換金できるところもある。</p> <p>具体的には、健康に関するイベントへの参加や自らの健康づくりに取り組むことでポイントを獲得したり、介護事業や健康づくりのイベントへの協力で、ポイントをもらえるところもある。協力することでポイントがもらえ換金できる点では、有償ボランティア制度にもつながる。</p> <p>ポイント制度を広めることで、地域コミュニケーションの活性化が図れるし、協働の町づくりや自助・共助の町づくりにもなる。まさに、住みよい町・住んで良かったといえる町を目指す「川棚町総合計画」の推進に当てはまる。</p> <p>川棚町でもポイント制度を採用してはどうか。</p> |
| <p>答 弁：町 長</p>  |
| <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p>   |

|  |
|--|
| <p>通告番号：3番 通告事項：2／2項目 議席番号：1番 議員名：福田 徹</p>   |
| <p>質問事項：図書館について</p>  |
| <p>図書館には様々な機能があり、中でも町づくりの拠点としての機能が重視されているが、川棚町には図書室はあるが、図書館といえるものがない。</p> <p>図書館の持つ機能や役割は、住みよい町づくりに欠かせないと思っているが、どのように考えているか尋ねる</p> |
| <p>答 弁：教育長、町 長</p>   |
| <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p>  |

質問事項：観光施設運営のあり方について

「川棚町観光施設運営あり方検討委員会」が令和3年12月に設置され、令和4年9月29日に答申が出され、10月に役場内に「観光施設運営検討会議」を設置し検討がなされている。

先の検討委員会からは、大崎半島内の観光施設の課題・問題点の指摘や、今後の観光施設運営のあり方が答申されている。

そこで、以下のことを尋ねる。

- ① 指摘された問題点や今後のあり方について、大崎半島内の観光施設を、川棚町観光振興のどのような役割として位置付けるかが大事であり、そのための条例の見直しが必要不可欠であると指摘されているが、条例の見直し検討はどうするのか。
- ② 同じく問題点・あり方に、川棚町として観光振興政策を明確にするための KGI 及び KPI の設定、そして経営・運営戦略（ロードマップ）の策定がまず必要不可欠であると指摘されているが策定はいつ頃となるのか。
- ③ 答申では、「利用者のニーズなどの把握ができておらず、利用者のニーズを把握することがまず大事である」とあるがどのようにして把握するのか。
- ④ それぞれの施設が持つ用途や管理の特性を見極めたうえで、「収益施設」と「管理施設」に分類することも考えられるとあるが、どのように分類を考えているのか。
- ⑤ 「コンセッション方式」の公募や、「PFI 方式」での公募などが考えられるとあるが、どのような管理運営の委託手法とするのか。
- ⑥ 全体のスケジュールはどのように考えているのか。

答 弁：町 長

通告番号：5番 通告事項：1／1項目 議席番号：7番 議員名：小田 成実

質問事項：観光地づくり実施計画について

令和5年1月26日の長崎新聞記事によると、長崎県観光審議会で「観光地づくり実施計画」について、川棚町の計画は原案どおり承認されたとあるが、その計画はどのようなものか次の点を尋ねる。

- ① 海水浴場やくじゃく園などがある大崎半島を生かした観光コンテンツの充実を計画とあるが、その計画はどのようなものか。
- ② 計画推進を担当する部署及び事業実施主体は。
- ③ 現在の指定管理者制度の中で取り組むのか。

答 弁：町 長

|   |
|---|
| <p>通告番号：6番 通告事項：1／2項目 議席番号：12番 議員名：水谷 末義</p>  |
| <p>質問事項：本町の大型事業計画を活用した施策について</p>  |
| <p>本町には東彼杵道路が計画されている。また、基幹農道川棚西部地区と石木ダム事業が実施されている。このような大型事業の中で、ダム事業は水源地域整備計画がある。基幹農道川棚西部地区は完成後の計画は定まっていないと思っている。また、東彼杵道路は計画されているが、本町の活用施策が見えない状況である。そこで、大型事業を活用した施策について考えを尋ねる。</p> <p>① 基幹農道を活用する整備計画はないのか。<br/> ② 東彼杵道路計画は、基本ルートとして複数のルートが報道がされた。そこで、今後、川棚町の10～20年を見据えた産業の活性化や、定住人口が増加するような構想や施策についてどのように考えているか。</p> |
| <p>答弁：町長</p>  |

|   |
|---|
| <p>通告番号：6番 通告事項：2／2項目 議席番号：12番 議員名：水谷 末義</p>  |
| <p>質問事項：農業施策について</p>  |
| <p>農業施策については、国の「食料・農業・農村基本法」により、各自治体も追随した運用がされている。</p> <p>しかし、地域農業は、コロナの影響や国際状況の変化もある中、営農者は燃料の高騰などで大変な状況である。それを救済する町の対応が遅いと思うが、どのように考えているか。</p> |
| <p>答弁：町長</p>  |

|  |
|--|
| <p>通告番号：7番 通告事項：1／2項目 議席番号：11番 議員名：炭谷 猛</p>  |
| <p>質問事項：石木ダムについて</p>   |
| <p>川棚町民・川棚町においては、石木ダムはない方が良いという結果が、現在も、過去30年前から考えて見ても、結論は出ている。今までなかったコンクリートブロックでせき止めれば、弊害、異常、想定外の事態が考えられる。また、そういう事態へのリスクが非常に高くなるものであり、以下の点を尋ねる。</p> <p>① 平成30年3月作成の「石木ダム」の資料によれば、石木ダムが建設された場合での治水容量は195万トンだが、想定外の降雨の場合、ダムの構造上（常用洪水吐きを超えた場合）非常用洪水吐きより全面的に流れだし、急激な流量増加により下流域に災害発生が十分考えられるがどのように思っているか。</p> <p>② ダム建設予定地の堰堤地周辺地域では今でもボーリング調査が行われており、地質的に相当貧弱な地下層と元砕石掘削部の柱状節理と堰堤との距離が50mと狭い場所があり、漏水地盤対策と堰堤強度に不安があると言われており、安全性が指摘されている中、公表されてない。町はどう捉えているのか。</p> <p>③ 近年の線状降水帯による降雨状況は山間部だけではなく、中小河川域にも降るため大雨洪水は下流域に内水氾濫を発生させるのでダムの効果は希少である。<br/>       県北振興局河川課がおこなった、川棚川下流域城山の掘削工事・河床堆積土砂の排出は完了したが、令和3年8月14日の洪水においては、河道確保が出来て水位が上がる事がなくなり地元住民には評価されており、掘削土砂と河床堆積土砂の量は何立方メートルであったのか等は結果報告を町民へ公表できないか。</p> <p>④ 現在の川棚川の堤防・護岸工事は昭和30年代に造られており、破堤は1度もあっていない。<br/>       平成2年以降は、栄町側の左岸、又右岸側中組、宿地区にも逆流防止弁、それに堤防の間欠部には流入防止用の非常用扉も設置されている。氾濫対策は十分と思えるが、どう理解しているのか。</p> <p>⑤ 波佐見町内の面積は、石木ダムの降雨面積9km<sup>2</sup>の9倍である。82km<sup>2</sup>の山林がある波佐見町の行政の理解と協力が不可欠であると考えられる。流域治水の考え方が、非常に重要であり、波佐見町長に治山治水のあり方などを中長期的な問題ではあるが、話し合いの申し入れを検討する考えはないか。</p> |
| <p>答 弁：町 長</p>   |

|   |
|---|
| <p>通告番号：7番 通告事項：2／2項目 議席番号：11番 議員名：炭谷 猛</p>   |
| <p>質問事項：川棚町中央部の内水面氾濫対策について</p>  |
| <p>町内中央部内水面氾濫対策（雨水排水）は日常生活に非常に重要なものであり、中組・宿・栄町・下組・平島等ある。<br/>       特に宿、中組地区から下組への旧用水路に係わる排水路においては、中小河川・畑・山間部よりの流入量の増。近年の気象変動・集中豪雨による局部的かつゲリラ雨が心配される。<br/>       特にあげれば、中組山道交差点、宿地区中央角部、宿より平島経由で国病付近排水路等いくらでもある。排水溝未完工事区間がかなり長くある、町も承知と思う。喫緊の対応を望まれており、工事を早急に進める考えはないか。</p> |
| <p>答 弁：町 長</p>  |

質問事項：窓口業務の改善について

町長選の際の語る会や個人演説会でも、役場の窓口での対応に不満の声が多くあった。町長は改善に努力されていると思うが、なおまだ少し不満の声を聞く。

そこで、次の3点を質問する。

- ① 町民は、役場の業務はよくわからないし、弱い立場だという意識が強いと思うので、職員側は普通に接して普通に話しているつもりでも、叱られている、怖い、という気持ちになることがあるのではないかと思う。だから、職員は、いつも町民目線で、考えたり話したりすることが必要だということを、常に意識しておく必要があると思うが、そのような意識は徹底しているのか。
- ② 自分はいつも丁寧に接していると思っている職員でも、接遇に関する専門家の話を聞いてみると何かに気づくということはあると思う。だから、一度に全員一緒になくてよいが、全職員が年に1度くらいはそういう話を聞けるような研修の場を設けてはどうか。
- ③ 接遇ではなく仕組みの問題であるが、新型コロナワクチン5回目の接種の予約は、電話またはインターネットでとなっていて、通知の文書には接種の候補の日にちが書いてあった。しかし、電話は、かけて10分以上待ってもつながらない状態だし、インターネットも、候補の日にちが全部バツすなわち満員になっていて、どうすればよいか分からなかった。だから私は、5回目はもうやめておこうかと思ったほどである。結局は役場の窓口に行くと、職員の方に私のスマホを操作してもらって、その結果、候補の日にちよりも後の日を押さえてもらったのだが、そもそも電話またはインターネットのみでの予約としていること自体に疑問を持った次第である。そこで、5回目については、この予約の面倒さであきらめた人はいなかったのかどうか、という点と、そもそも役場業務一般について、高齢者には、電話またはインターネットのみで受付というのは、きわめて不便であるので、窓口でも受け付けるということを原則にするべきではないか。

答 弁：町 長